



令和6年度「琴浦町満喫キッズキャンプ」実施報告書

I 事業の概要

1. 期 日 令和6年8月6日(火)～8月9日(金) 3泊4日

2. ねらい

- ・琴浦町と連携し、長期宿泊体験活動を通して、地域独自の自然を体感し文化を学びながら、自律・友情・協力・奉仕の精神を養い、参加児童・生徒の社会を生き抜く基礎的な能力を養う。
- ・琴浦町の魅力を存分に満喫し、地域独自の良さを実感することで、地元地域の魅力に興味を持ち、その地域の発展に貢献する力につなげる。

3. 参加対象 小学4年生～中学生

4. 応募者 69名

5. 参加者 33名 (大学生サポーター 16名)

6. 参加費 13,000 円

7. 日 程



8月6日(火)		8月7日(水)		8月8日(木)		8月9日(金)	
13:30	出合いのつどい	6:30	起床	6:30	起床	6:30	起床
13:50	オリエンテーション	7:00	朝のつどい	7:00	朝のつどい	7:00	朝のつどい
14:10	交流レク	7:30	そうじ	7:30	そうじ	7:30	そうじ
15:00	めあての設定	8:00	朝食	7:45	朝食	8:00	朝食
15:15	野炊説明		→着がえ	8:45	日程説明	8:45	退所点検
15:45	野炊開始 (パエリア)	9:15	日程説明	9:00	バス出発	9:00	日程説明
19:00	振り返り	9:45	谷川探検出発	9:30	琴浦町役場	9:30	バス出発
19:30	館内肝試し	10:20	谷川入口到着		「ふるさと教育」	10:00	林養魚場見学
20:30	入浴(30分) ※班長から		谷川探検開始	11:00	大山乳業見学	11:40	昼食 (海鮮丼)
21:00	班長会議 就寝準備	11:30	ダム湖へ移動	12:45	海水浴場着後、昼食 ・海水浴、SUP 体験等	13:00	神崎神社訪問
21:30	就寝	12:30	昼食	15:30	海水浴場出発	14:15	帰所 感想記入
		13:15	ダム湖活動 カヌー・いかだ	16:00	帰所・シャワー	14:45	別れのつどい
		16:00	帰所・入浴	17:30	夕食	15:20	解散
		17:30	夕食	18:30	振り返り		
		18:30	振り返り 休憩・学習時間	19:00	キャンプファイヤー打合せ		
		20:00	星空観察	19:30	キャンプファイヤー		
		21:00	班長会議	20:30	入浴(30分)		
		21:30	就寝	21:00	班長会議		
				21:30	就寝		

II 実施状況

■1日目の活動の様子<8月6日(火) 天候 晴れ>

小学生と中学生33名(学生サポーター16名)が集まった。交流レクリエーションでは学生サポーターが率先して参加者に声をかける姿もあり、お互いに打ち解けるのに時間がかからなかった。

夕食は野外炊飯でパエリア作り。どの班も学生サポーターの支援を受けながら、班で役割を分担して協力してパエリアを完成させることができた。

夜は館内きもだめし。スタート地点に来ると子どもたちは緊張の表情を浮かべていた。数組に分けて組ごとに時間差をつけてスタートしていると、前の組が悲鳴をあげている声が館内に響いていた。

振り返りの時間はサポーターの進行で班ごとに輪になってコメントを書いて発表し、振り返ることができた。班長会議では班ごとの学生サポーターにも出席してもらうことで、一緒に相談したり、アドバイスをもらったりすることでより一層内容の深い会議となった。



■2日目の活動の様子<8月7日(水) 天候 晴れ>

2日目は自然の家の活動の「谷川探検」と「ダム湖活動」に取り組んだ。1~3班と4~6班の2つのグループに分かれて活動した。

午前中は「谷川探検」の活動。2グループの交代制で、1つのグループは入口付近で「ターザンロープ」、もう1つのグループは谷川を登っていき滝つぼに入る活動を行った。この日も暑かったが、谷川では水の中に入るなど、涼しくて清々しい場面となった。

午後からはダム湖でカヌーといかだの体験。「谷川探検」に取り組んだ後だったが、子どもたちは疲れている様子もなく楽しく活動に取り組んでいた。

夜は星空観察の活動。満点の星空を眺めながら、スライドショーを使ってのお話や、大きな望遠鏡を覗いて星空を観察するなど、講師の小川敦司氏のお世話になって星についての学習ができた。



■3日目の活動の様子<8月8日(木) 天候 晴れ>

3日目からは町バスを利用して、所から離れた場所での活動となった。午前中は2つの施設を訪れた。

1つ目は琴浦町役場で企画政策課移住定住推進室の西村蓮氏から「琴浦町のまちづくり」についての講話を聞いた。参加者自身の住む地域について思いをめぐらせる時間も設け、「ふるさとキャリア教育」につながる学習の機会となった。

2つ目は大山乳業の工場見学。大山乳業は全国にも白バラ牛乳をはじめとする乳製品を出荷しており、子どもたちにとって貴重な見学ができた。

昼食は八橋海水浴場に移動してからの琴浦町自慢のあごカツバーガーをいただいた。昼食後はサーフィン・ビッグ SUP 体験と海水浴の2グループに分かれて交代制での活動であった。事前に海水浴場用に安全ロープを準備しておき、海に張ることで安全面に配慮した。素敵なお話を聞かべながら、サポーターと共に楽しい活動ができた。

夜はキャンプファイヤーの活動を行った。学生サポーターにも出し物をしていただくなど、大変盛り上がった。



■ 4日目の活動の様子<8月9日(金) 天候 晴れ>

4日目の午前中は林養魚場で「琴浦グランサーモン」の養殖の様子を見学。施設の説明を聞くグループとエサやり体験の2グループに分かれて交代で体験。説明を聞くことで日本でも希少な養殖の方法をとっている施設ということを知ることができた。

午後からは神崎神社を訪れ、観光協会の方の説明を聞いた。暑い中だったが、説明を聞くことにより、建物や木の彫刻がいかに文化的に価値が高いのかについて学ぶことができた。

別れのつどいは学生サポーターからの話も聞くことで感動的な場面となった。



Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ 最初はみんなと仲良くなれるか不安だったけど、1日で仲よくなれたので良かったです。野外炊飯や谷川探検とかではみんなで協力できたし、サップとかキャンプファイヤーではみんなでおもいっきり楽しめたのですごいい良かったです。
- ・ 今までやったことのない体験ばかりでとっても楽しかったし、少し自分が成長した気がした。特にカヌー・いかだ、サーフィン・サップ体験が楽しかった。自分たちで布団を敷いたりするのもいい体験だった。
- ・ 琴浦町の取り組みや琴浦町のいいところが分かりました。
- ・ 4日間がすごく早く感じました。また来たいです。

学生サポーターの感想(抜粋)

- ・ 4日間の中で琴浦町内の様々な場所に行き、子どもたちと一緒に楽しむことができて良かった。担当した班の子たちともすごく仲良くなれたし、1日目からの成長もあって、声かけなどを意識することができたと思います。地元なのに初めて行く場所や初めて体験するものも多くて、自分自身も学びのある4日間でした。子どもたちへ対応が難しい場面もあったけど充実していて参加してよかったと思います。

2. 成果

- ・ 海水浴場の安全面に配慮した活動前の準備や、琴浦町グランサーモンの見学など、昨年度取り組んだことが今年度も活かされることで、より内容が充実したものになった。
- ・ 琴浦町役場の協力により、「ふるさとキャリア教育」につながる学習の機会ができた。また、琴浦町の大きな地図を所の壁面に掲示しておき、活動ごとに場所を書き込んだり、「琴浦町」を意識した活動ごとの説明をしたりすることで、自分の住んでいる地域(ふるさと)に対する意識づけができた。
- ・ 学生サポーターたちが、ある時は率先して班や班長を引っ張ることでリーダーとなったり、ある時は班の中の子どもたちを支援したりと、とてもお世話になった。
- ・ 少年自然の家の周辺の自然を生かした活動を体験してもらったり、琴浦町内の厳選した施設をめぐるったり、琴浦町内の各所や食文化を十分に満喫していただくことができた。



3. 課題

- ・ 時間が足りない場面があったので、今回の状況をふまえて、来年度の時間設定に活かす必要がある。
- ・ 中学生も参加していることもあり、活動の説明をその都度丁寧に話すのではなく、事前に情報を掲示することで「自分の必要な情報を自分から得る」ような情報提供の仕方の方法をとってもいい。